

香取市と隣接6団体との比較分析

目次

1.本報告書における比較団体群.....	1
2.比較団体群の4区分.....	1
3.定量データから見た香取市の分析結果.....	2
(1)人口・世帯.....	2
(2)大綱1 産業・経済の振興.....	3
(ア)経済.....	3
(イ)労働・雇用.....	4
(ウ)農林水産業.....	5
(エ)商業.....	6
(オ)工業.....	7
(3)大綱2 生活・環境の向上.....	8
(4)大綱3 健康・福祉の充実.....	9
(5)大綱4 教育・文化の振興.....	10
(6)大綱5 都市基盤の整備.....	11
(ア)都市基盤.....	11
(イ)居住環境.....	12
(7)大綱6 市民参画・行政の取組.....	13

1.本報告書における比較団体群

本市では、下表の分類①～分類④までの 4 区分の比較団体群(後述する団体群にて比較分析を実施)と 600 の指標をもとに、本市の特徴を明らかにするため、比較分析を行った。

本報告書では、分類④(7 団体:隣接市及び本市)の比較団体群をベースとし、各指標値の平均を 50 と偏差値化した結果をレーダーチャートにて表示するとともに分析コメントを付している。

No	都道府県	団体名	類似団体類型※1	人口規模※2
-	千葉県	香取市	市Ⅱ-1	72,356
1	千葉県	成田市	市Ⅲ-1	132,906
2	千葉県	旭市	市Ⅱ-1	6,3745
3	千葉県	匝瑳市	市Ⅰ-1	35,040
4	茨城県	潮来市	市Ⅰ-2	27,604
5	茨城県	稲敷市	市Ⅰ-0	39,039
6	茨城県	神栖市	市Ⅱ-0	95,454

※1:総務省の類似団体区分(以下、参照)

産業構造		Ⅱ次,Ⅲ次90%以上		Ⅱ次,Ⅲ次90%未満	
		Ⅲ次65%以上	Ⅲ次65%未満	Ⅲ次55%以上	Ⅲ次55%未満
人口	0以上～ 50,000未満	I-3	I-2	I-1	I-0
	50,000以上～ 100,000未満	Ⅱ-3	Ⅱ-2	Ⅱ-1	Ⅱ-0
	100,000以上～ 150,000未満	Ⅲ-3	Ⅲ-2	Ⅲ-1	Ⅲ-0
	150,000以上～	Ⅳ-3	Ⅳ-2	Ⅳ-1	Ⅳ-0

※2:2020(令和2)年の国勢調査結果の人口データ

2.比較団体群の4区分

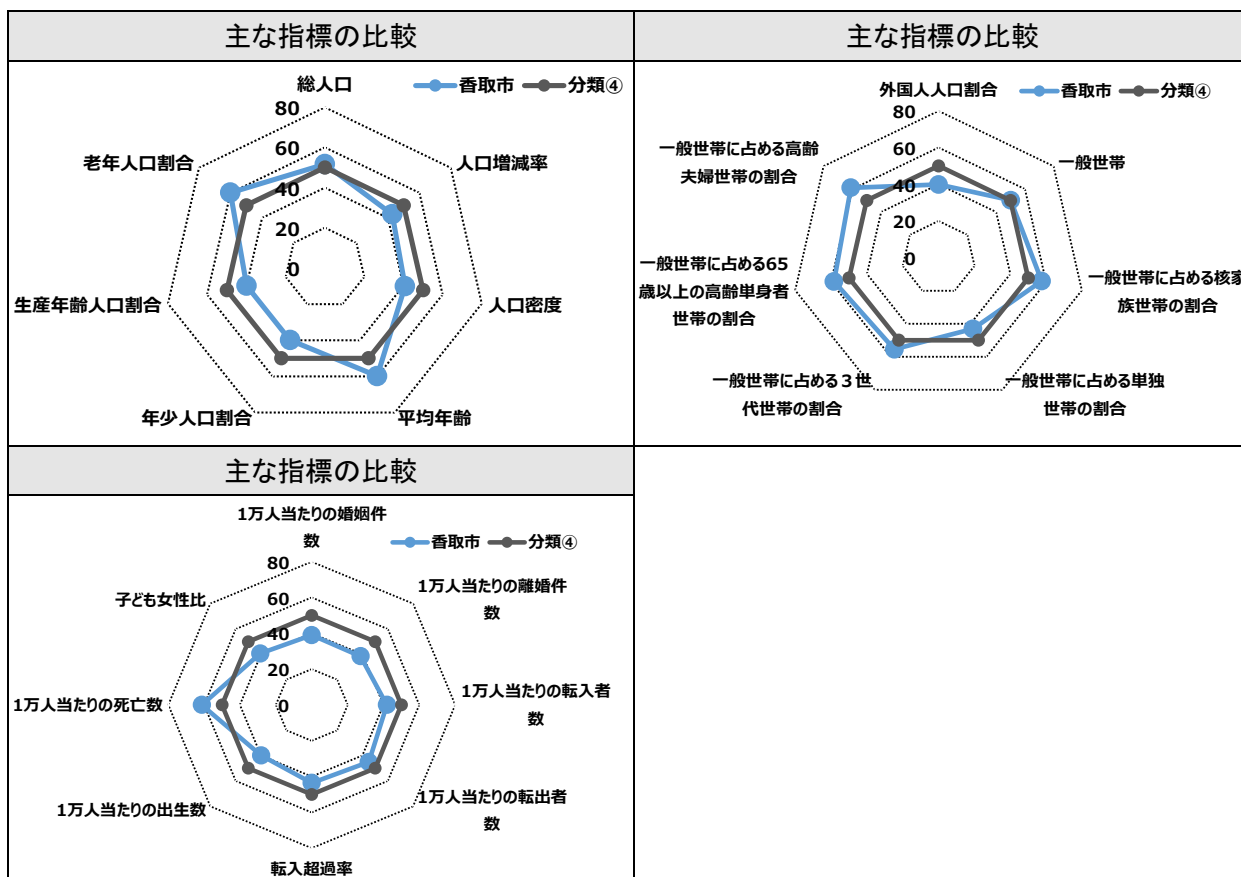
比較団体群によって、各指標の評価が異なることから、多角的に状況分析するため、以下の4区分にて比較団体群を設定している。

分類	説明
全国	全市区町村(1,741 団体)
分類①	県内団体(54 団体)
分類②	全国類似団体Ⅱ-1(69 団体)
分類③	県内類似団体Ⅱ-1(銚子市、東金市、旭市、八街市、富里市、山武市、本市)(7 団体)
分類④	隣接市及び本市(成田市、匝瑳市、旭市、稲敷市、潮来市、神栖市、本市)(7 団体)

3.定量データから見た香取市の分析結果

(1)人口・世帯

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「人口増減率」は低い水準にある。(①)
- 「人口密度」は低い水準にある。(②)
- 「平均年齢」及び「老年人口割合」が高い水準にある一方で、「年少人口割合」「生産年齢人口割合」は低い水準にある。(③)
- 「一般世帯に占める単独世帯の割合」は低い水準にある一方で、「一般世帯に占める65歳以上の高齢単身者世帯の割合」は高い水準にある。(④)
- 「1万人当たりの婚姻件数・離婚件数」はともに低い水準にある。(⑤)
- 「1万人当たりの転入者数・転出者数」はともに低い水準にある。(⑥)

<考察コメント>

本市は比較団体群と比べて、人口減少が深刻化しているとともに、少子高齢化の傾向が顕著となっている(①③④)。令和4年度から市の一部が過疎地域指定を受けたことも踏まえ、今後はより人口の定着化や人口流入に配慮した対応が必要である。

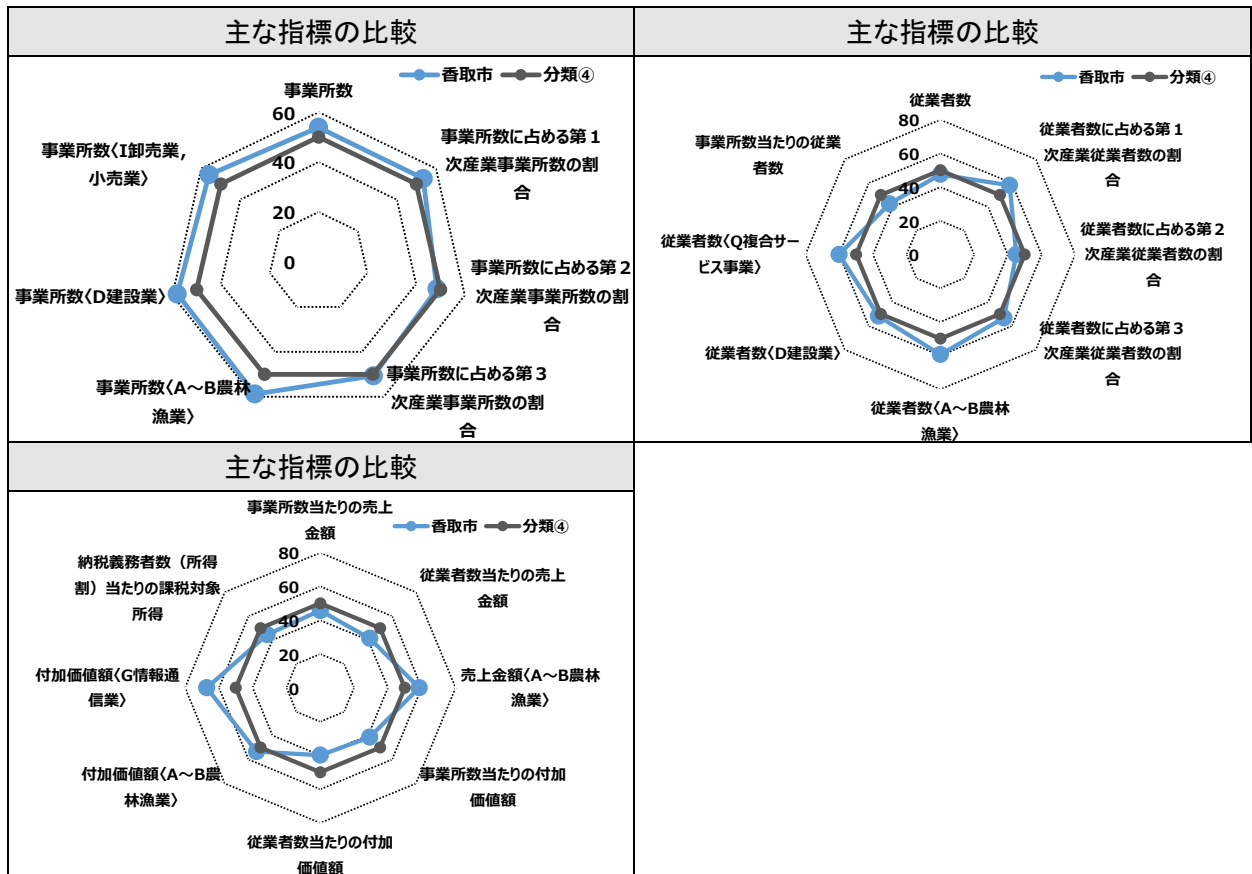
市域の広さから人口密度が低くなっており、高齢者や障がいのある方でも暮らしやすいよう都市機能集積や交通網整備に配慮する必要がある(②)。

婚姻件数が低い水準にあることから、安心して結婚・出産・子育てができる環境整備に向けた施策を検討することが必要である(⑤⑥)。

(2)大綱 1 産業・経済の振興

(ア)経済

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「事業所数に占める第1次産業事業所数の割合」「事業所数(A~B 農林漁業)」は高い水準にある。(①)
- 「従業者数に占める第1次産業従業者数の割合」「従業者数(A~B 農林漁業)」は高い水準にある。(②)
- 「売上金額(A~B 農林漁業)」「付加価値額(A~B 農林漁業)」は高い水準にある。(③)
- 「事業所数(D 建設業)」「従業者数(D 建設業)」は高い水準にある。(④)
- 「付加価値額(G 情報通信業)」は高い水準にある。(⑤)
- 「事業所数当たりの」「事業所数当たりの売上金額」「事業所数当たりの付加価値額」「従業者当たりの売上金額」「従業者当たりの付加価値額」が低い水準にある。(⑥)

<考察コメント>

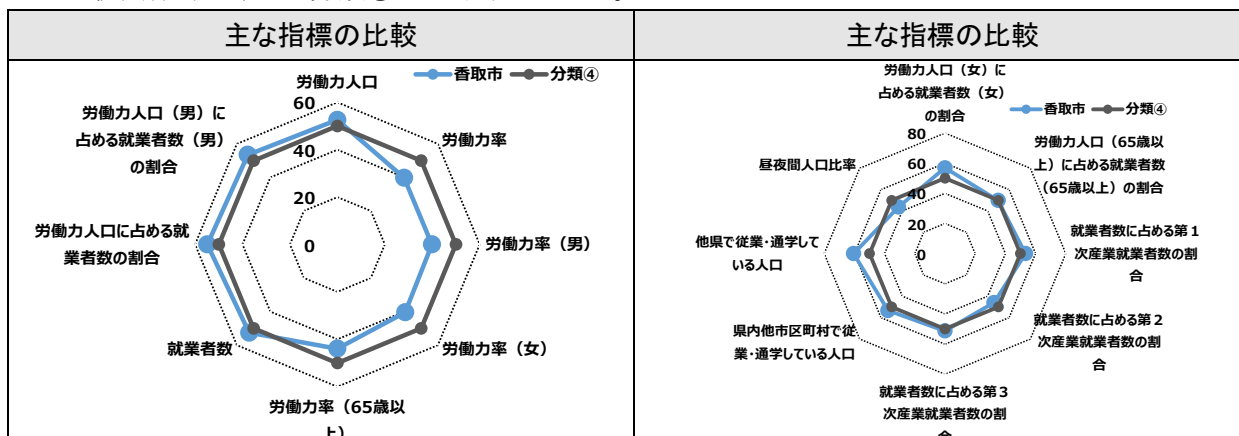
農業が本市の基幹産業となっており、事業所数・従業者数ともに第1次産業が占める割合は高い水準にあるとともに、売上金額・付加価値額も大きくなっている。(①②③)。

また、規模の大きい事業者が複数立地している建設業や情報通信業等も雇用の受け皿となっていることが推察される(④⑤)。

事業所規模及び単位当たりの付加価値額が小さくなっており、生産性の向上が求められる(⑥)。

(イ)労働・雇用

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「労働力率」「労働力率(男)」「労働力率(女)」「労働力率(65歳以上)」は低い水準にある。(①)
- 「労働力人口に占める就業者数の割合」「労働力人口(男)に占める就業者数(男)の割合」「労働力人口(女)に占める就業者数(女)の割合」は高い水準にある一方で、「労働力人口(65歳以上)に占める就業者数(65歳以上)の割合」は低い水準にある。(②)
- 「昼夜間人口比率」は低い水準にあり、「県内他市区町村で従業・通学している人口」「他県で従業・通学している人口」は高い水準にある。(③)

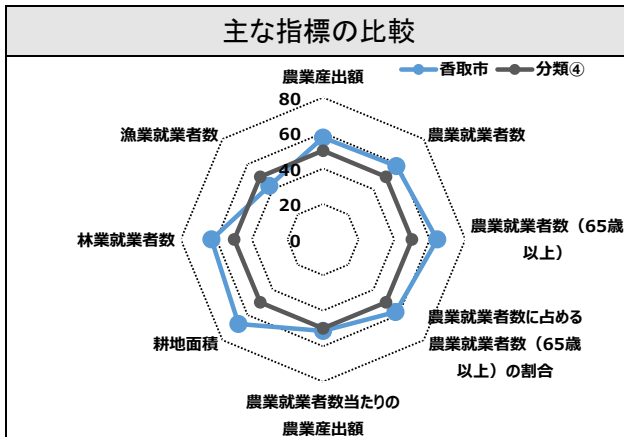
<考察コメント>

本市では、高齢化の影響もあり、労働力率が低くなっている。また、高齢者における労働力率も比較団体群より低い水準にあり、今後、労働力の確保が大きな課題となる(①)。さらに、実際に高齢者で就業している人の割合もやや低い水準にある(②)。

他県への通勤・通学者数が類似団体群より高い水準にあるとともに、昼夜間人口比率の低さからも実際に他県・他市へ就業している人口が多いことが推察される(③)。

(ウ) 農林水産業

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



< 比較団体群との比較結果 >

- 「農業産出額」「農業就業者数」は高い水準になっている。(①)
- 「農業就業者数に占める農業就業者数(65歳以上)の割合」は高い水準になっている。(②)
- 「農業就業者数当たりの農業産出額」は高い水準になっている。(③)

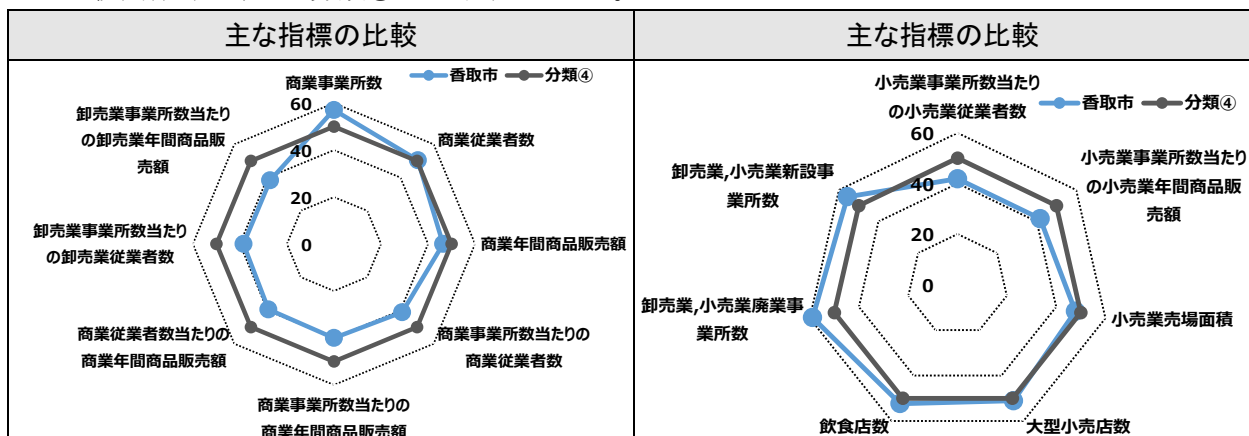
< 考察コメント >

農業は産出額・就業者数ともに高い水準にあり、就業者数当たりの産出額も高い水準にあることから、名実ともに基幹産業であると言える(①③)。

一方で、農家就業者に占める高齢者の割合が大きくなっていることから、後継者・新規就農者の確保が課題となっている(②)。

(I) 商業

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



< 比較団体群との比較結果 >

- 「商業事業所数当たりの商業従業者数」「商業事業所数当たりの商業年間商品販売額」「商業従業者数当たりの商業年間商品販売額」は低い水準にある。(①)
- 「卸売業事業所数当たりの卸売業従業者数」「卸売業事業所数当たりの卸売業年間商品販売額」は低い水準にある。(②)
- 「小売業事業所数当たりの小売業従業者数」「小売業事業所数当たりの小売業年間商品販売額」は低い水準にある。(③)
- 「卸売業, 小売業廃業事業所数」「卸売業, 小売業新設事業所数」は高い水準にある。(④)

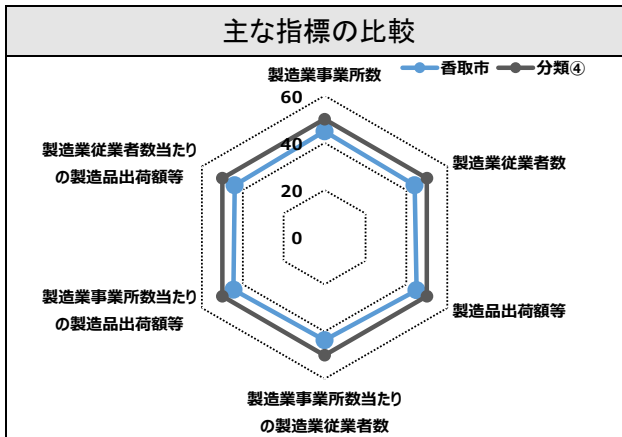
< 考察コメント >

商業・サービス業を始めとした第3次産業が事業所数・従業者数ともに7割前後を占めている。地域産業の底上げに当たっては、事業所規模及び単位当たり年間商品販売額が小さくなっている業種の労働生産性の向上が不可欠である(①②③)。

廃業事業所数及び新設事業所数がともに高い水準にあるが、廃業事業所数の方が多くなっている状況にある(④)。

(オ)工業

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

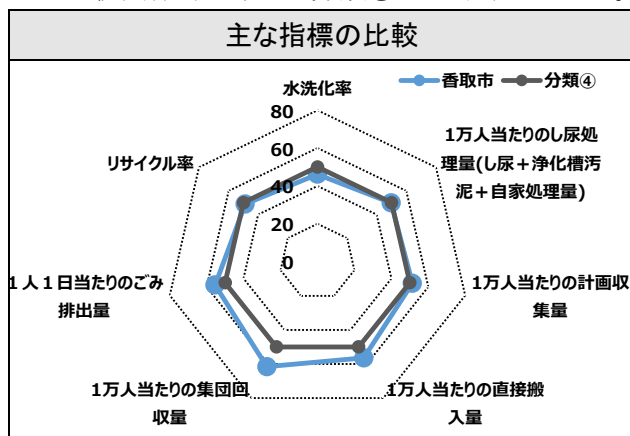
- 「製造業事業所数」「製造業従業者数」「製造品出荷額等」は低い水準になっている。(①)
- 「製造業事業所数当りの製造品出荷額等」「製造業従業者数当りの製造品出荷額等」は低い水準になっている。(②)

<考察コメント>

長引く景気低迷や大手企業の撤退により、本市の製造業事業所数や出荷額は低い水準となっている(①②)。一方で、工業の振興に向けた企業誘致に積極的に取り組んできた結果、2020年9月から小見川産業用地等において、平塚製菓株式会社香取工場の本格稼働が始まっている。

(3)大綱 2 生活・環境の向上

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「水洗化率」は低い水準にある。(①)
- 「1万人当たりの直接搬入量」「1万人当たりの集団回収量」「1人1日当たりのごみ排出量」は高い水準にある。(②)
- 「リサイクル率」は低い水準にある。(③)

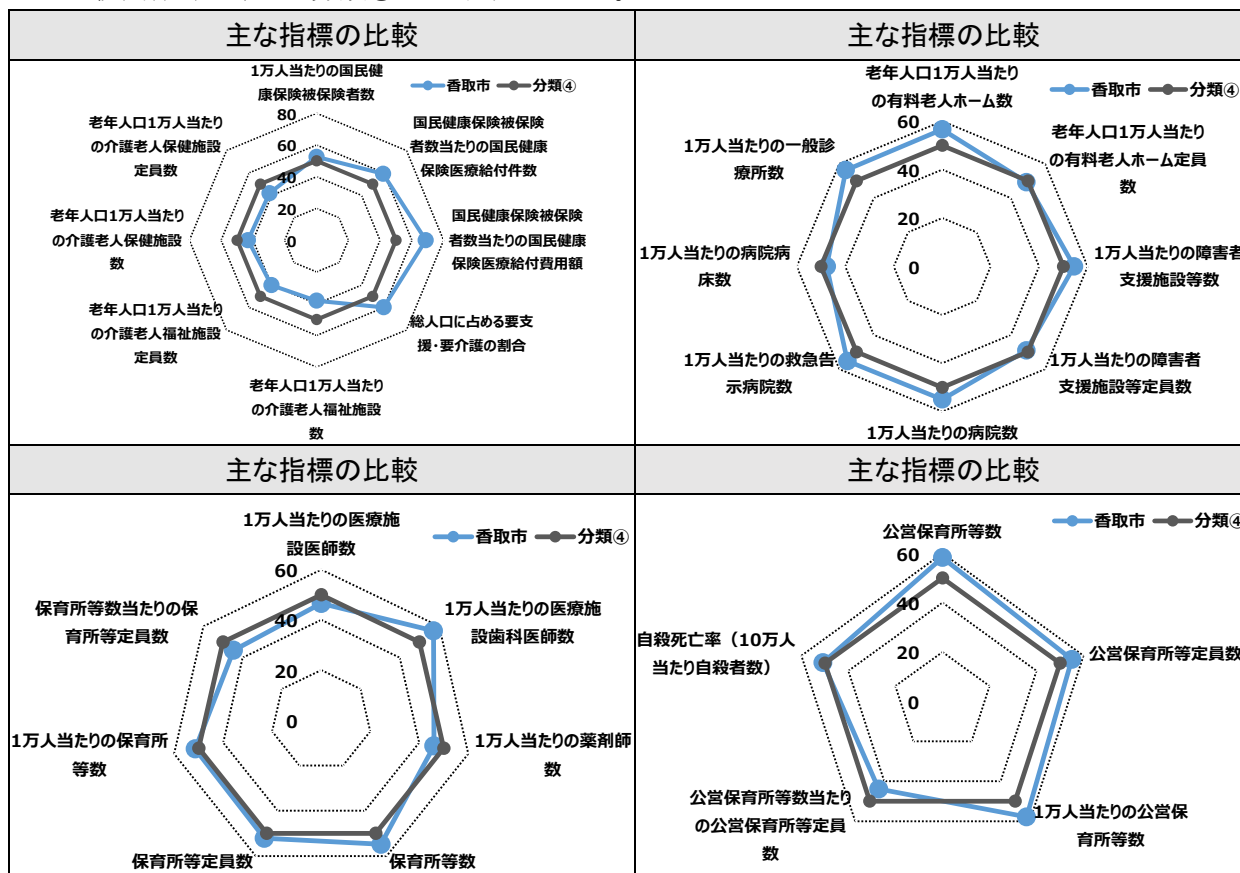
<考察コメント>

本市では、下水道や合併処理浄化槽の普及に取り組んでいるが、比較団体群と比べて未だ低い水準にある(①)。

また、リサイクル率が低い水準にあり、ごみの排出量も多くなっていることから、ごみの減量化・再資源化の推進に、引き続き取り組むことが必要である(②③)。

(4)大綱 3 健康・福祉の充実

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



< 比較団体群との比較結果 >

- 「国民健康保険被保険者数当たりの国民健康保険医療給付件数」「国民健康保険被保険者数当たりの国民健康保険医療給付費用額」は高い水準にある。(①)
- 「総人口に占める要支援・要介護の割合」は高い水準にある。(②)
- 「1万人当たりの障害者支援施設等数」は高い水準にあり、「1万人当たりの障害者支援施設等定員数」は中程度の水準にある。(③)
- 「1万人当たりの病院数」「1万人当たりの一般診療所数」は高い水準にある。(④)
- 「保育所等数」「保育所等定員数」「1万人当たりの保育所等数」は高い水準にある一方で、「保育所等数当たりの保育所等定員数」は低い水準にある。また、公営保育所においても同様の傾向にあり、その傾向はより顕著となっている。(⑤)

< 考察コメント >

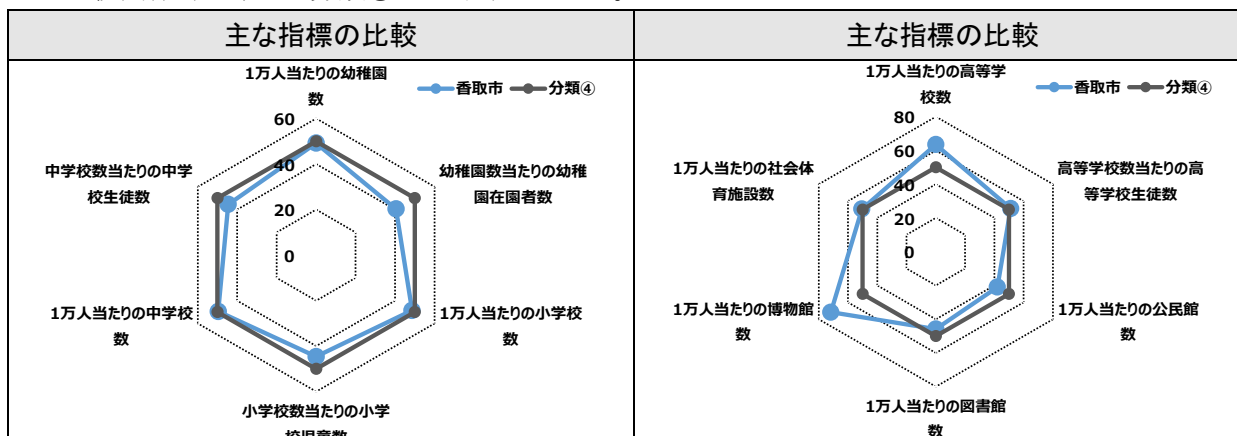
本市では、高齢化の影響により医療費が件数・金額ともに大きくなっており、要支援・要介護の割合も大きくなっていることから、社会保障費が増大している(①②)。

障害者福祉施設や病院・診療所といった医療・福祉施設は良好とまでは言えないが一定程度、確保されている。人口や人口構造、市民ニーズの変化等も踏まえ、適切なサービス提供が可能な体制を構築する必要がある(③④)。

保育所等に関しては、保育所数・定員数ともに多くなっている一方で、規模は小さくなっていることから、地域差を考慮しつつ、適正な配置に努めていくことが必要です。保育サービスを継続して提供していくことができるような体制を民間事業者と連携しながら構築していくことが必要である(⑤)。

(5)大綱 4 教育・文化の振興

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「幼稚園数当たりの幼稚園在園者数」は低い水準にある。(①)
- 「小学校数当たりの小学校児童数」は低い水準にある。(②)
- 「中学校数当たりの中学校生徒数」は低い水準にある。(③)
- 「1万人当たりの高等学校数」は高い水準にある一方で、「高等学校数当たりの高等学校生徒数」は中程度の水準にある。(④)
- 「1万人当たりの博物館数」「1万人当たりの社会体育施設数」が高い水準にある。(⑤)

<考察コメント>

本市では幼稚園数当たりの幼稚園在園者数が低い水準にある。現在、こども園への統合等の適正配置に向けた取組が進められている(①)。

小中学校に関しても同様に、少子化の影響から、学校の小規模化がますます深刻化している。既に地域検討会議等を開催し、学校再編に向けた議論を進めているところではあるが、引き続き教育の質の向上や複式学級等の解消に向けて、議論を深めていく必要がある。(②③)

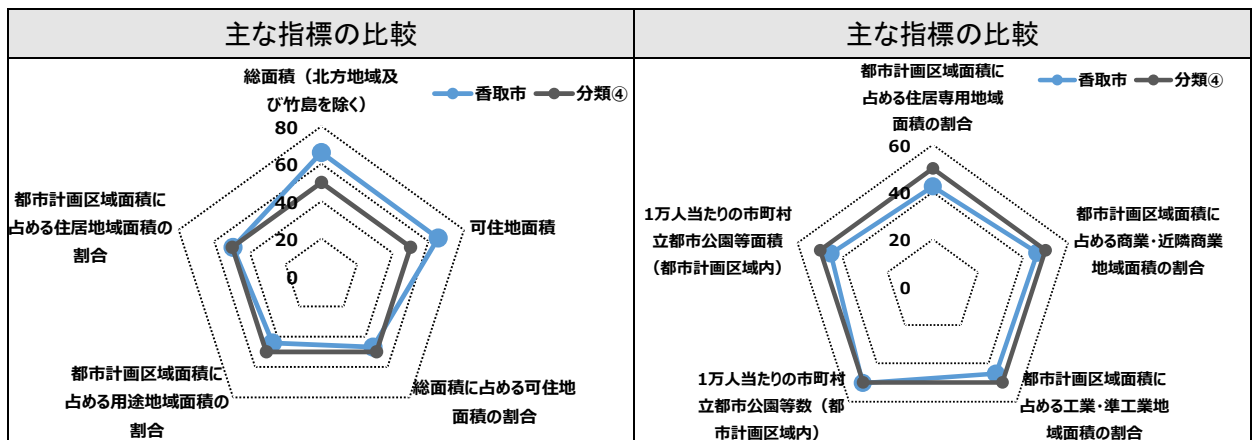
高等学校に関しては、令和3年度確定値においては、市内に立地する県立高校3校の全てが定員割れとなっている状況にある。県立高校ではあるものの、学校は地域づくりの重要なハブであり、県と連携しながら方策を検討していくことが必要である(④)。

社会教育施設に関しては、博物館や社会体育施設などが一定程度の確保されていることから、生涯学習活動に対する注目の高まりを踏まえ、良質な社会教育事業を展開していく必要がある(⑤)。

(6)大綱 5 都市基盤の整備

(ア)都市基盤

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

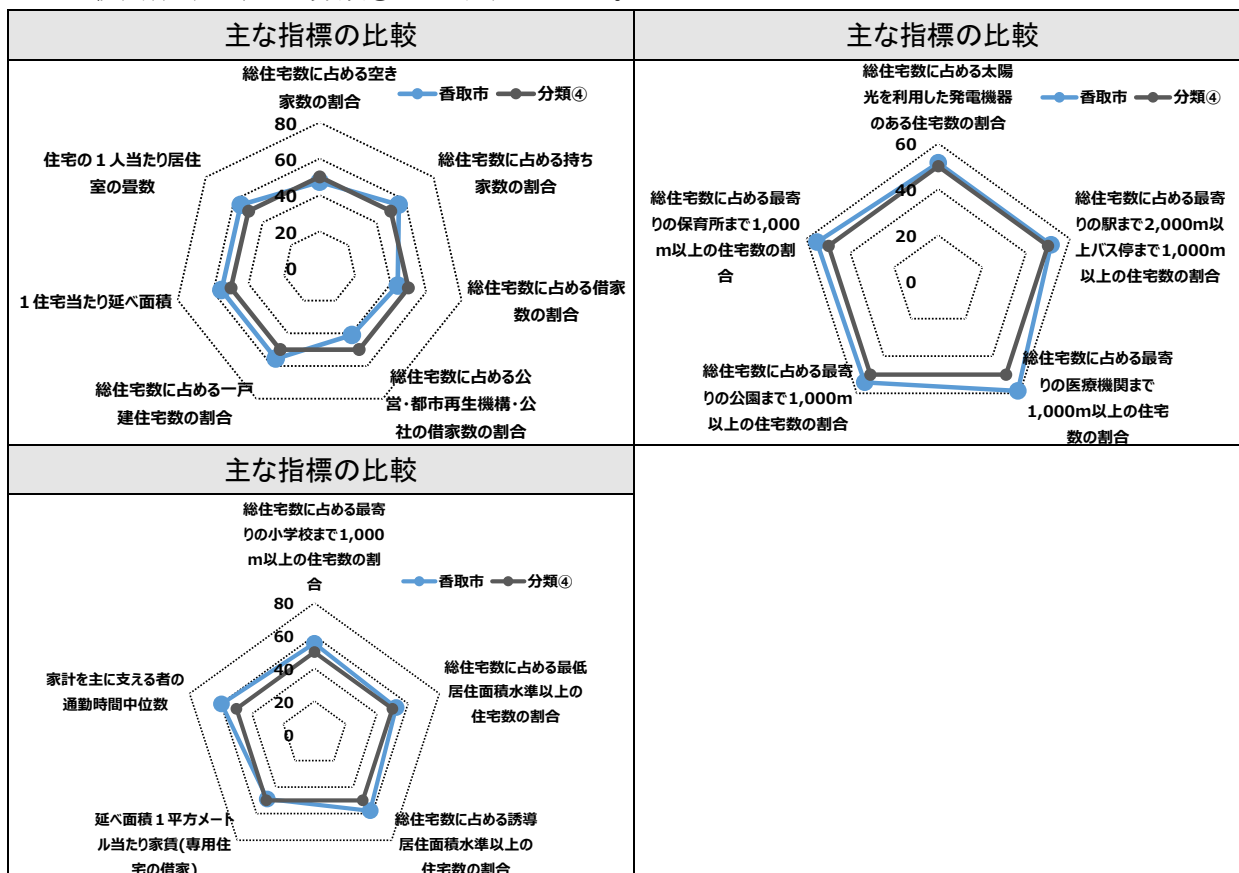
- 「総面積」「可住地面積」は高い水準にある。(①)
- 「都市計画区域面積に占める用途地域面積の割合」は低い水準にある。(②)

<考察コメント>

本市は市域及び可住地面積が大きくなっており、土地利用だけでなく、様々な施策への配慮(学校や公共施設の適正配置、公共交通の在り方など)を行い、生活機能の維持・確保に取り組むことが必要である(①)。また、市街化の圧力が弱い地域であることから、市域全体が非線引都市計画区域となっており、用途地域指定されている面積が少なくなっている(②)。

(イ) 居住環境

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「総住宅数に占める持ち家数の割合」は高い水準にある。(①)
- 「総住宅数に占める一戸建住宅数の割合」「1住宅当たり延べ面積」「住宅の1人当たり居住室の畳数」は高い水準にある。(②)
- 「総住宅数に占める太陽光を利用した発電機器のある住宅数の割合」は高い水準にある。(③)
- 「総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上バス停まで1,000m以上の住宅数の割合」「総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合」「総住宅数に占める最寄りの保育所まで1,000m以上の住宅数の割合」「総住宅数に占める最寄りの小学校まで1,000m以上の住宅数の割合」は高い水準にある。(④)
- 「総住宅数に占める最低居住面積水準以上の住宅数の割合」「総住宅数に占める誘導居住面積水準以上の住宅数の割合」は高い水準にある。(⑤)

<考察コメント>

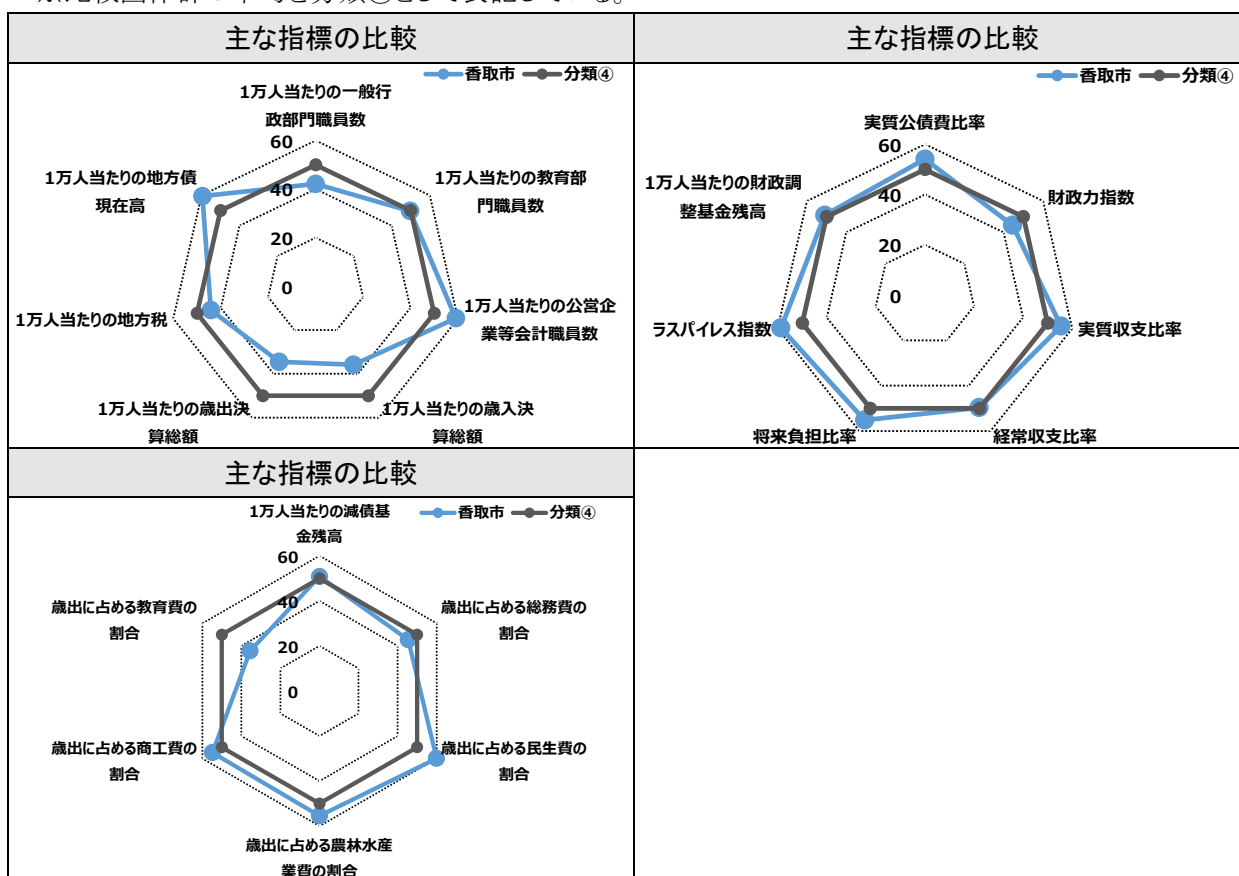
持ち家比率が高く、一戸建て住宅数も多いことから、居住面積が広がっており、快適な住環境が供給されていることが推察される(①②⑤)。

本市は住宅用省エネルギー設備設置補助金等の支援策を展開しており、太陽光発電機器を設置した住宅数も多くなっている(③)。

生活に密接に関わる各種施設等への距離が遠い住宅が多い状況にあることから、高齢者等の移動手段等を検討していくことが不可欠である(④)。

(7)大綱 6 市民参画・行政の取組

※比較団体群の平均を分類④として表記している。



<比較団体群との比較結果>

- 「1万人当たりの公営企業等会計職員数」は高い水準にある。(①)
- 「1万人当たりの地方税」「財政力指数」は低い水準にある。(②)
- 「1万人当たりの地方債現在高」「将来負担比率」は高い水準にある。(③)
- 「実質収支比率」は高い水準に、「経常収支比率」は中程度の水準にある。(④)
- 「歳出に占める教育費の割合」は低い水準に、「歳出に占める農林水産業費の割合」「歳出に占める商工費の割合」は高い水準にある。(⑤)

<考察コメント>

公営企業等会計職員数が多くなっている要因としては、香取おみがわ医療センターを所有していたことが考えられる(①)。

実質収支比率は高い水準にあり、経常収支比率は中程度の水準に抑えることができていることから、一定程度健全な財政運営がなされていると考えられる(④)。一方で地方税収入や財政力指数は低い水準にとどまっていることから、自主財源の確保に一層取り組んでいくことが必要である(②)。元利償還金の7割に対して国の交付税が措置される合併特例債等を有効に活用していることから地方債現在高や将来負担比率は高い水準にある(③)。

目的別歳出の状況を見ると、本市の基幹産業である農業に係る農林水産業費や観光業に係る商工費、主に福祉に係る民生費の割合が大きくなっている。(⑤)。